

事務事業評価表（補助金等）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月31日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

1 事業名	大学等進学資金利子補給金			コード	164107	
2 担当部課	部等	企画政策部	課等	企画課	担当者	宮坂征憲
3 事業概要	目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて			
		政策	総合計画の推進に向けて	施策	広域市町村との連携	
		事務事業	大学等進学資金利子補給金			
		予算科目	企画調整事務	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
	根拠法令等	岡谷市大学等進学資金利子補給金交付要綱				

●事業の内容（D0）

4 補助等の内容		* 補助金、負担金、交付金の具体的な内容	
① 性質	補助金	② 期間	平成28年度～平成31年度
補助金の種別	利子補助	③ 対象	個人
④ 制度の内容	<p>●地方創生に向けた平成28年度からの新規事業 「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」推進の一環として、学校教育法に定める大学、短期大学及び専修学校の専門課程（以下「大学等」という。）へ進学しようとする子を持つ親、同一世帯に住む孫又は弟妹を扶養する者が、金融機関等から大学等進学に係る資金の借入を行った場合に、当該進学資金の借入利子の一部に対し補給金を交付するもの。</p> <p>①対象借入資金 ・諏訪信用金庫の「すわしん教育ローン みらい応援隊」のうち、大学等へ支払う初年度納付金に係る借入れ分（岡谷市と同庫が締結する「地方創生の積極的な推進に向けた相互の連携協定」による）</p> <p>②対象者 借入を行った日から継続して市内に居住していること、市税の滞納がないこと、満20歳以上であること</p> <p>③利子補給の率 0.5%以内。また、卒業後に帰岡し、その後も引き続き岡谷市に住所を置いた場合は、その期間中さらに0.5%以内で上乗せ</p>		
⑤ 積算方法	毎年3月から翌年2月末までの毎月の元利償還による借入残高を基に算出		
⑥ 期待される効果（最終的な意図）	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の充実 ・高等教育の機会の提供 ・有能な人材のUターン促進 		

5 補助等の実績

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 件数（件）				
予算件数	0	82	42	33
実際の支出件数	0	12	23	
執行率	-	14.6%	54.8%	
② 金額（円）				
予算額	0	500,000	378,000	330,000
財源				
一般財源	0	500,000	378,000	330,000
内訳				
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源（負担割合）の説明				
実際の支出金額	0	59,716	124,212	
予算執行率	-	11.9%	32.9%	
支出額の前年度比		-	208.0%	

③ 29年度の交付先

諏訪信用金庫教育ローン「すわしん教育ローン みらい応援隊」利用者

●事業の評価 (CHECK)

6 妥当性評価		* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。		妥当性 (1次判定)	標準
評価項目		はい	いいえ		
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1			5
②	補助等の効果は広く市民に還元され、特定団体の既得権益にはなっていない。	1			3
③	全ての対象者に交付している。		0		
④	補助等の基準を明確に定め、市民に周知している。	1			
⑤	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、補助等の内容に反映している。		0		
⑥～⑩は、補助金の対象が特定の団体に限定される場合に回答				妥当性 (2次判定)	
⑥	補助対象団体では構成員に会費負担を求めており、自主財源を確保している。				0
⑦	補助対象団体の会計において、市の補助額を上回る繰越額は生じていない。				3
⑧	補助対象団体の事務局は独立しており、市は事務的な支援を行っていない。				
⑨	補助対象団体の事業実績、決算状況を把握している。				
⑩	補助対象団体が補助金を目的どおり使用したか、用途を検証している。				

7 有効性評価		* 有効性=成果指標 (項目7/住民の満足度) が向上しているか。		有効性	高い
評価項目		はい	いいえ		
①	この補助金等が属する施策において、この補助金等の優先度が高い。	1			
②	補助等の目的が未達成で、今後も継続することで成果が向上する余地がある。	1			
③	他の方法と比べて、現金を直接給付する方法が最も効果的で低コストである。	1			
④	補助団体等において、市が補助等を行った目的が達成された。	1			
⑤	この事業の利用者が増加した。	補助・交付件数	前年度比	191.7%	1

●改善の内容 (ACTION)

8 具体的な課題と改善	
課題	(補助等の制度を有効に活用する上で、現在課題になっていること) ①補助金の対象となる借入資金が、諏訪信用金庫の「すわしん教育ローン みらい応援隊」利用者に限定されるため、総じて利用件数が少ない。 ②市中金利が低金利で推移しており、元々の融資利率も低いいため、利子補給率(0.5%)に対する魅力が乏しい。 ③平成28年度から平成31年度までの時限制度であるため、平成32年度以降の制度存続及び制度設計について検討が必要
	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) ・平成32年度以降の制度のあり方等について、検討を行う
改善方法	
改善開始時期	平成30年度

●次年度の計画 (PLAN)

9 次年度の方針	継続して実施
----------	--------